日刊建設産業新聞
（3） 2017年（平成29年） 6月26日（月曜日）

パスコなど4社が受賞
公共測量品質管理優秀賞
測量協会関西支部

日本測量協会関西支部技術センターは22日、大阪市阿倍野区のあべのハルカスで17年公共測量品質管理優秀賞の表彰式を行った。関西地区において優秀賞は基準点部門でパスコ関西事業部、淀川アクテス、地図部門でウエスコ、国際航業が受賞した。田中俊之技術センター長から4社に楯が贈られた。なお、パスコと淀川アクテスは2年連続の優秀賞受賞となった。

冒頭、田中センター長は「複数回の受賞は、継続して高品質な測量成果品を提供されている証であり、技術者の教育に対する努力の表れだと思っている。今後も継続して品質管理に努められ、さらなる会社の発展を期待している」とあいさつした。

受賞を受けて、パスコは「我々は、経営方針の中で品質を一番に掲げており、高い品質とサービスを用いてお客様や社会から信頼されることを念頭に取り組んでいる。そういう意味でも、このような名誉ある賞をいただけることを本当に嬉しく感じている。そして、2年連続で表彰いただいたことを励みに、3年連続を目指して努力していきたい」、淀川アクテスは「今回で2年連続4回目の表彰となり、非常に嬉しく感じている。今後とも、より一層品質管理を徹底し、継続してこのような表彰をいただけるよう研鑽を重ねていきたい」、ウエスコは「我々がお客様に評価をいただける一番大きな指標は表彰であると感じており、これからの大きな励みになる。表彰を機に、より一層精進していきたい」、国際航業は「品質に対して表彰をいただくのは一番の励みになる。これからも、品質管理の表彰をいただけるように頑張っていきたい」と喜びを語った。

協会では測量機器及び測量成果の検定を行う第三者機関として検定業務を行っており、05年に表彰制度を創設した。表彰は今年で13回目となり、全国で公共測量品質管理優秀賞30社（基準点22社、地図8社）が受賞した。

日刊建設工業新聞
2017年（平成29年）6月26日（月曜日） （10）

日測協関西技術センター

大阪市で公共測量品質管理優秀賞表彰式開く

日本測量協会（日測協）関西支部技術センターは22日、大阪市阿倍野区のあべのハルカスで第13回「公共測量品質管理優秀賞」の関西地区表彰式を行い、地図作成部門で受賞したウエスコ（岡山市北区）と国際航業（兵庫県尼崎市）、基準点測量部門で受賞したパスコ関西事業部（大阪市浪速区）と淀川アクテス（大阪市東淀川区）に記念の盾を贈呈した＝写真。

本年度は、基準を満たした310社（基準点279社、地図31社）の中から基準点部門22社、地図部門8社が選ばれ、関西地区で4社が受賞した。パスコと淀川アクテスは2年連続4回目、国際航業は4回目、ウエスコは3回目の受賞となる。

各社の代表者に記念の盾を手渡した田中俊之センター長は「複数回の受賞は継続して高品質な成果品を提供している証だ。今後も品質管理に努め、さらなる会社の発展と社会の貢献に期待している」と受賞をたたえた。

ウエスコの松原利直社長は「プロの方が評価しており、われわれにとって非常に励みになる」、国際航業の伊藤篤顧問は「衛星みちびきが打ち上げられたが、技術会社としてさらに品質を上げたい」と話し、パスコの濱出正関西事業部長は「技術者のモチベーションは感謝の言葉と表彰で3年連続を目指したい」、淀川アクテスの池田幸義社長は「品質管理を徹底し、継続して受賞できるよう日々努力する」と述べた。

建設通信新聞
（9） 2017年（平成29年） 6月26日（月曜日）

品質管理優秀賞に4社
一層の貢献期待
測量協関西支部技術C

日本測量協会関西支部技術センターは22日、大阪市のあべのハルカスで2017年公共測量品質管理優秀賞の関西地区表彰式を開いた＝写真。田中俊之センター長から受賞4社に表彰盾が贈られた。

ことしで13回目となる賞は全国9地域で30社が選ばれた。一昨年までは奨励賞を設けていたが昨年から優秀賞に一本化した。関西地区の受賞者は、地図がウエスコ（岡山市）、国際航業（東京都千代田区）、基準点がパスコ関西事業部（大阪市）、淀川アクテス（大阪市）で、パスコと淀川アクテスは2年連続となった。

協会が16年度に実施した測量成果（基準点測量および地図作成）の検定で、品質管理が特に優れていた測量企業を表彰している。

表彰後、田中センター長は「測量業務は作業規定の準則に基づき作業し成果を納めるが、その規定は測量の技術が日進月歩であるため頻繁に部分改正されている。そうした中で技術者への教育は大変だと思う。その努力が今回の受賞に現れたのだと思う。今後も継続して品質管理に努め、さらなる会社の発展と社会貢献に期待している」とあいさつした。

ウエスコの松原利直社長は「プロの方に見てもらい評価を受け、賞をいただけたことは大変励みになる。これを機に一層精進したい」と話し、国際航業の伊藤篤顧問は「技術会社として品質が評価されたことがうれしい。さらなる品質管理に努めたい」と語った。

パスコ関西事業部の濱出正事業部長は「光栄に感じるとともに感謝している。受賞は技術者のモチベーションが上がり、気持ちの支えにもなる」と述べ、淀川アクテスの池田幸義社長は「名誉なことであり、社員一同喜んでいる。顧客のニーズに応え信用を得るためにも、日々研さんし品質管理を徹底していきたい」と語った。

建通新聞
2017年（平成29年）6月27日＜火曜日＞ （4）

日測協関西

公共測量品質管理優秀賞
受賞4社を表彰

日本測量協会関西支部は22日、公共測量品質管理優秀賞を受賞した4社に対し、大阪市内で表彰式を行った＝写真。

2016年度に実施した測量成果の検定（基準点測量、地図作成）で、品質管理が特に優れていたと認められる企業に与えられるもの。

表彰は05年の品確法施行を機に創設したもので、ことしで13回目。関西地区では、地図作成でウエスコ（岡山市北区）と国際航業（兵庫県尼崎市）、基準点測量でパスコ関西事業部（大阪市浪速区）と淀川アクテス（大阪市東淀川区）の4社が受賞した。

同協会関西支部の田中俊之技術センター長は、「測量技術は日進月歩で、3次元測量やドローンによる航空測量など新技術への対応も必要になる。さらなる技術の向上に期待したい」とあいさつすると、受賞者の一人は、「高い品質とサービスで顧客満足を高めることがわれわれの使命。より高い技術を求めて努力を続けたい」と応えた。